

計画期間における各地域の重点的に実施する取組を示します。



地域の概要

- 中部地域は3市2町1村で構成され、約17,000haの農地が広がり、利根川を中心とする豊富な水や標高差を活かした農業が展開されています。
- 前橋市南部、伊勢崎市及び玉村町の平坦地域では、広瀬桃木両用水などを利用した米麦二毛作が集落営農組織を中心に展開されています。前橋市北部では、群馬用水などの畑地かんがいを活用した露地・施設野菜などが生産されるほか、畜産が盛んに行われています。
- 渋川北群馬地域では、群馬用水や赤城西麓用水を利用した土地利用型農業が展開され、米麦、野菜などが生産されています。



米麦二毛作が盛んな水田地帯（前橋市・伊勢崎市・玉村町）

主な農業水利施設

坂東大堰、根利川頭首工（赤城西麓）
群馬用水赤城幹線水路・榛名幹線水路

地域の特産品

米麦、きゅうり、なす、こんにゃくいも、豚

現状と課題

農業者の減少と担い手への農地集積・集約化

- 水田と比較し整備が遅れている伊勢崎市境地域及び赤城西麓の畑地帯では、高齢化等による離農者の増加や未整備であることを起因とした遊休農地が増加しています。そのため、生産基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化の推進が課題となっています。
- 水田整備は概ね完了した地域ですが、営農の省力化・低コスト化に向けて、スマート農業技術の導入を推進する必要があります。そのため、大型農業機械の運用を可能とする農地の大区画化や水田の水管理の省力化が課題となっています。



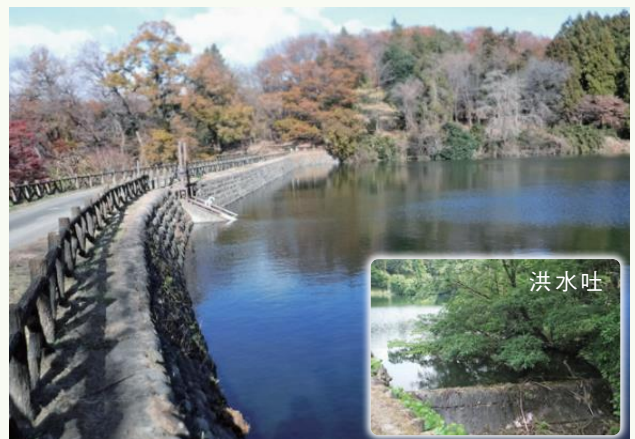
未整備な畑地帯（渋川市：赤城西麓）

防災重点農業用ため池の
防災減災対策

- 管内101箇所の防災重点農業用ため池のうち、過半数が豪雨対策や地震対策、劣化対策が必要となっており、防災工事が急務となっています。

農業水利施設の保全対策

- 基幹水利施設が10施設あり、多くの施設が対策時期を迎えていることから、計画的に保全対策を進めることが必要となっています。



洪水吐

豪雨耐性不足のため池（前橋市：大堤沼）

・ 重点取組 ・

1 | スマート農業技術の導入や 担い手への農地集積を図る生産基盤整備の推進

- 前橋南部地域（前橋市）において、スマート農業技術の導入を踏まえた農地の大区画化やGNSS基地局の設置などを支援します。
- 境小此木東部地区（伊勢崎市）、笠張地区（渋川市）において生産基盤整備を実施し、担い手への農地集積を推進します。
- 境下武士・中島・米岡地区（伊勢崎市）、敷島、南原地区（渋川市）において、生産基盤整備の着手並びに担い手への農地集積に向けて推進します。



スマート農業技術の導入（自動給水栓の設置）

2 | 防災重点農業用ため池 に係る対策の推進

- 管内101箇所の防災重点農業用ため池について、施設や利用の状況、管理者の意見などを踏まえ、優先度に応じて対策を進めます。
- 千貫沼、大堤沼、北替戸沼、二本松沼地区（前橋市）、戸室、弁天池地区（渋川市）において、豪雨・地震対策工事を実施します。
- 利用されていない農業用ため池は、廃止に向けた支援を行います。



豪雨対策を実施した農業用ため池
（渋川市：大谷の堤）

3 | 農業水利施設の 保全対策の推進

- 坂東大堰2期（前橋市ほか）、大正用水3期（前橋市、伊勢崎市）、赤城大沼用水4期、金丸地区（前橋市）では、保全対策を実施します。
- 大正用水4期（前橋市、伊勢崎市）、赤城大沼用水5期地区（前橋市）において、機能保全計画に基づいて保全対策に着手します。
- 相馬原地区（高崎市、榛東村、吉岡町）において、障害防止対策事業造成施設の補修・更新を実施します。



老朽化のため改修が必要な用水路
（前橋市：赤城大沼用水）

（用語解説）

・GNSS：Global Navigation Satellite Systemの略であり、人工衛星を利用して位置を測定する測位システムのこと。

地域の概要

- 西部地域は群馬県南西部の4市3町2村からなり、すべての市町村の全域または一部が中山間地域となっています。
- 管内の農地は、標高60mの烏川、鐮川などの河川沿いの平坦地域から900mの山間地域まで分布し地形は変化に富んでいます。
- 各地域では、それぞれの自然・立地条件を活かし、野菜、米麦、果樹、こんにゃくいも、花き、畜産など多彩な農業が展開されています。
- また、経営耕地面積は県全体の16%、経営体数は25%を占めており、1経営体あたりの耕地面積は1.3haで県平均の2.0haより小さい状況となっています。



ほ場整備された松義台地地区（安中市、富岡市）

主な農業水利施設

長野堰頭首工、鳴沢貯水池、鐮川幹線水路

地域の特産品

うめ、なし、キウイフルーツ、いちご
ねぎ、こんにゃくいも、花き類

現状と課題

農地の大区画化と中山間地域の整備

- 西部地域の農地整備は、高崎市、藤岡市などの平坦地では進んでいますが、地域計画の協議の場で担い手から大区画化が要望されるなど、地域計画と連携した再整備が必要となっています。一方で、中山間地域は整備率が低く、農業者の高齢化、担い手の減少による人手不足も顕著であり、遊休農地が増加しています。このような状況に対応するため、生産性を向上させるとともに、管理作業の省力化につながる整備が求められています。



農業者が減少した農地（安中市：細野原地区）

老朽化する水利施設と管理体制の再構築

- 管内には老朽化した水利施設が多く存在しており、あわせて、近年の自然災害の激甚化・頻発化に対して機能が不足している施設もあることから、豪雨対策や地震対策、老朽化対策が必要となっています。
- こうした水利施設は、土地改良区、水利組合、集落活動により管理されていますが、農家の減少により保全管理が困難となっていることから、関係者が連携した管理体制を構築する必要があります。



劣化が進んだ水路（高崎市：長野堰幹線水路）

1 | 生産性の向上と管理省力化に対応した生産基盤整備の推進

- 管内で実施中の保美地区(藤岡市)、吉田地区(富岡市)及び計画中の山崎・上大塚地区(藤岡市)において、農業者の急速な減少が見込まれることから、農業経営体の生産性の向上による経営規模拡大を図るため、担い手への農地集積・集約化、農地の大区画化、自動給水栓などのスマート農業技術を導入するとともに、農地周りの草刈りやほ場水管理等の管理作業を省力化する整備を推進します。また、中山間地域の細野原地区(安中市)、上馬山地区(下仁田町)において、担い手の要望に応じたきめ細やかな整備を支援していきます。



自動給水栓導入に向けた勉強会（富岡市：吉田地区）

2 | 農業水利施設の保全対策と管理体制の強化

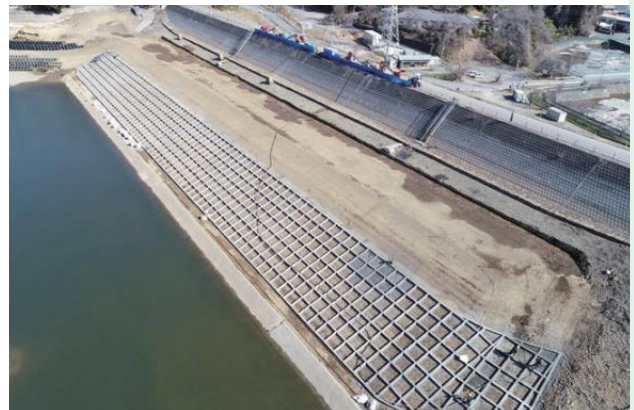
- 鐮川用水、甘楽多野用水、中村堰等において、老朽化が進行している基幹農業水利施設について、関係者と協議し計画的に保全対策を進め、農業用水の安定供給を図ります。また、管内の土地改良区及び市町村に対し、水土里ビジョンの策定を支援し、上流から末端までの一連の農業水利施設に対し、市町村を始めとした関係者が協力し、それぞれの役割に応じた保全に取り組む体制を構築します。



水路の補修（藤岡市：中村堰幹線水路）

3 | 農村地域の防災減災対策の推進

- 管内の31箇所の防災重点農業用ため池においては、利用者、関係市と協議のうえ、必要な豪雨・地震・劣化対策を進めていきます。また、神流川用水（藤岡市）等、市街化の進展に伴い、地域排水の受け皿として機能強化が必要な基幹農業水利施設において、施設管理者や関係市町村等と管理方法や対策方法を協議し、適切に防災減災対策に取り組んでいきます。



地震対策が進むため池（藤岡市：大谷牛秣地区）

地域の概要

- 吾妻地域は群馬県北西部に位置し、4町2村からなり、吾妻東部地域（中之条町、高山村、東吾妻町）と吾妻西部地域（長野原町、草津町、嬭恋村）で構成されています。
- 吾妻東部地域では、「高山きゅうり」などの伝統野菜や干し芋用のサツマイモも見直されています。また、雨除けトマト、施設いちご、露地なすを中心に、近年ではズッキーニの栽培も盛んに行われています。
- 吾妻西部地域ではキャベツ、はくさい等の露地野菜が大規模に展開されており、特に嬭恋村では、浅間山、四阿山の裾野に広がる標高800m～1,400mの高原地帯において、冷涼な気候や昼夜の温度差が大きいことを活かして夏秋キャベツが約3,000ha生産されています。嬭恋村で生産されたキャベツは、東北から沖縄まで国内各地に出荷されており、出荷量日本一を誇る一大産地として全国に知られています。



一面に広がるキャベツ畑（嬭恋村）

主な農業水利施設

美野原頭首工、美野原幹線用水路

地域の特産品

夏秋キャベツ、はくさい、こんにゃくいも
夏秋なす、りんご等

現状と課題

有機農業を後押しする生産基盤整備

- 高山村では道の駅「中山盆地」、ぐんま天文台等の観光施設を拠点に、観光事業を創出し村の活力強化を目指しています。
その高山村で更なる取り組みとして、令和6年2月、高山村は「オーガニックビレッジ」を宣言し、環境負荷を減らすなどの取り組みによる持続可能な農業の構築に向け、村全体で有機農業を推進する方針を示しました。このような状況を踏まえ、現在高山村において進めているほ場整備事業の実施地区や計画地区においては、有機農業への需要を満たしつつ、地区内の農業者から理解を得ながら生産基盤の環境を整えていく必要があります。



(高山村：オーガニックビレッジ宣言)

有機野菜（ビーツ）の収穫状況
(高山村：原第2地区)

水管理の省力化、 営農の効率化

- 嬭恋村では、夏秋キャベツの防除用水を確保するため、受水槽が整備されています。しかし、一部地域ではこれら施設が未整備のままのため、整備地域からトラクターなどで運搬して利用しています。一方、近年の経営規模の拡大や作業機械の大型化に伴い、防除用水タンクへの給水や運搬時間が増加しています。このような状況を踏まえ、運搬時間の短縮による水管理の省力化、営農の効率化が大きな課題となっています。



トラクターへの防除用水の給水、運搬状況（嬭恋村）

・ 重点取組 ・

1 | 有機農業に対応する 生産基盤整備の推進

- 高山村では、原地区においてほ場整備事業を実施しているほか、原第2地区においても事業実施に向け、地域と連携し基盤整備構想策定を進めています。これら地域における生産基盤整備への要望を踏まえ、有機農業者を含む地域農業者が安心して営農できる環境の整備を進めます。



生産基盤整備の対象地（高山村：原地区）

2 | 防除用水施設整備 の推進

- 大横川地区（嬭恋村）において、各ほ場に近い位置に受水槽4基を新設するとともに、老朽化した取水口と用水管路を更新します。これにより、漏水対応への労力を低減させるほか、トラクターへの防除用水の給水や運搬時間を短縮し、水管理の省力化や営農の効率化を図ることで、担い手への農地集積を促進させ農業競争力を向上させます。



防除作業の状況（嬭恋村）

地域の概要

- 利根沼田地域は群馬県北部に位置し、1市1町3村（沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町）で構成される中山間地であり、こんにゃくいも、高原野菜、果樹、水稻、畜産などが盛んな農業地帯です。特に夏秋期の冷涼な気候を活かした高原野菜の生産が活発で、首都圏への供給拠点としての役割を担っています。
- 夏から秋にかけて生産される夏秋レタスは、全国有数の産地として知られ、作付面積は県全体の90%を当地域が占めています。その他、えだまめ、夏秋トマトなども全国的にトップクラスの生産量を誇ります。



レタスの一大産地（昭和村）

主な農業水利施設

片品川沿岸用水、赤谷川沿岸用水
追貝平用水、赤城北ろく用水

地域の特産品

レタス、こんにゃくいも、夏秋トマト
雨よけほうれんそう、えだまめ、米

現状と課題

農業用水の安定供給と農業者の健康保持

- 赤城北ろく用水及び片品川沿岸用水は、施設が造成されてから約60年が経過し、当時かんがい用水施設として埋設された石綿セメント管は、耐用年数の超過や、交通量の増加、農業機械の大型化に伴う漏水事故が頻繁に発生し、農地の土砂流亡や断水により、営農に支障を来しています。また、破損等による石綿にばく露される危険性が高まり、農業者等の健康障害が懸念されていることから、石綿セメント管の計画的な更新が必要となっています。



石綿セメント管の破損状況（昭和村）



漏水による耕土流出状況（昭和村）

防災重点農業用ため池の防災減災対策

- 管内には28箇所の防災重点農業用ため池が指定されていますが、その内、豪雨・地震耐性評価及び劣化状況評価で対策が必要と判定されたため池が22箇所あります。
- 大規模地震や集中豪雨の発生時に、ため池が決壊した場合、農地・農業用施設だけでなく、人命・財産等に甚大な被害を及ぼすことが想定されることから、早急な対策が必要となっています。



対策が必要な権現ため池全景（みなかみ町）



対策が必要な権現上ため池（みなかみ町）

・ 重点取組 ・

1 石綿セメント管の敷設替え対策の推進

- 赤城北ろく用水の松之木平、追分、東中野・二本松地区（沼田市、昭和村）において、石綿セメント管を撤去し、硬質塩化ビニル管への敷設替えを計画的に実施します。
- 新たな管路への更新により、農業用水の安定供給を確保するとともに、農業者等の健康保持を図り、安心して農業を続けられる環境を整備します。



硬質塩化ビニル管への敷設替え状況（昭和村）

2 防災重点農業用ため池の豪雨・地震対策の推進

- 管内22箇所の防災重点農業用ため池について、利用状況や管理者及び関係市町村の意見を踏まえ、優先度に応じて対策を進めます。
- 権現地区（みなかみ町）においては、豪雨・地震対策工事を実施します。
- 災害リスクを軽減する観点から、利用されていないため池については、廃止に向けた支援を行います。



対策済のため池（みなかみ町：池田地区）

地域の概要

- 東部地域は、4市5町からなり、渡良瀬川上流部の中山間地域から大間々扇状地を経て、利根川と渡良瀬川の二大河川に囲まれた平坦地域へと広がっています。
- 国営渡良瀬川沿岸事業及び県営事業で造成した基幹農業水利施設によって、広域的に農業用水を供給することが可能となり、水稲作付面積が県内の4割以上を占める水田農業が盛んに行われている他、畑地かんがい施設によるほうれんそうやきゅうり等の施設園芸も盛んな地域です。
また、近年ではキャベツ等の加工・業務用野菜の生産が増加しています。



県内有数の水田地帯（板倉町）

主な農業水利施設

太田頭首工、邑楽頭首工、早川貯水池
太田幹線水路、邑楽東部幹線水路

地域の特産品

米、麦類、ほうれんそう、きゅうり
ブロッコリー、やまといも等

現 状 と 課 題

大区画化とスマート農業による営農の効率化

- 館林邑楽地域では、利根川と渡良瀬川に挟まれた平坦地域のため、水稲栽培が盛んですが、小区画な水田が多く、これらの地域では農作業効率が非常に低い状況です。このため、経営規模拡大等による経営の安定化を実現するため、水田の大区画化やスマート農業技術の活用によるほ場水管理の省力化が必要となっています。



整備前の一反区画のほ場（館林市、明和町、千代田町：野辺地区）

豪雨や地震災害から農村地域を守る対策

- 太田地域では、地域開発に伴い、雨水排水量が増加しており、農地の他、道路、宅地等への湛水被害が発生しています。このため、排水機場の更新や調整池・排水路の造成を行い、農村地域の安全・安心を確保する必要があります。
- 太田及び桐生・みどり地域の丘陵地には、28箇所の防災重点農業用ため池が指定されていますが、豪雨や地震時の安全性が確保されていないため池が多数存在しています。このため、地域の農業や地域住民の安全・安心を確保するため、早急な対策が必要です。



豪雨による湛水状況（太田市：藪塚西部地区）

・ 重点取組 ・

1 | 担い手への農地集積・集約化及び スマート農業技術の普及・促進を図るための生産基盤整備の推進

- 野辺地区（館林市）において、大区画化のための区画整理58.5haを実施し、担い手へ51.7haの農地集積を図るとともに、スマート農業技術（自動給水栓）を活用することで、ほ場水管理の省力化及び営農コストの低減を図り、収益力の高い持続可能な農業の実現を目指します。
- 尾島東部地区（太田市）、大島地区（館林市）は、区画や農道が狭小等の理由で、営農に支障を来しているだけでなく、農業者の高齢化等により遊休農地の増加が懸念されています。このため、区画整理や農道整備等により、効率的な営農を実現することで、担い手への農地集積が図れるよう区画整理約120haの事業化を推進します。



整備後の大区画化されたほ場
（館林市、明和町、千代田町：野辺地区）

2 | 農村地域の 防災減災対策の推進

- 藪塚西部地区（太田市）は、調整池の造成や排水路の整備、押切境地区（太田市）は、排水機場の更新や排水路の整備を実施することで、湛水被害を未然に防止し、地域の農業や住民の生活環境を守ります。
- 農業の持続的安定と農村地域の安全・安心を実現するため、豪雨・地震・劣化対策が必要とされた防災重点農業用ため池について、計画的に防災工事を実施します。
- 地域開発等に伴い、雨量排水量が増加している農村地域の湛水被害を防止するために設置された渡良瀬川中央地区（太田市他5市3町）の農地防災水管理システムを更新し、広域的な排水機能を維持・保全します。



湛水被害を未然に防ぐ調整池の造成状況（太田市：藪塚西部地区）



豪雨・地震対策を行うため池
（太田市：菅塩ため池地区）